



秋の消防総合訓練 〜岩子〜

地域住民と消防団が連携して初期消火訓練

秋の火災予防運動期間にあわせて11月2日の早朝に、岩子地区の住民や周辺の消防団が参加して「岩子地区消防総合訓練」が行われました。

発煙筒に火を付けると「火事だー、火事だー」と大声で火事ぶれ。聞きつけた住民が119番通報を行ったあと、駆けつけた付近住民によるパケツリレーでの初期消火訓練を行いました。その後、地元消防団が出動しての消火活動が行われ、参加者たちは本番さながらの真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

最後に、住民が八峰消防署員の指導のもと「消火器の正しい使い方」を体験する訓練も行われ、防災意識を高めました。

町内では今年に入ってから5件の火災が発生しており、訓練に駆けつけた加藤町長が「あと2ヶ月間、無火災で新年を向かえるように心がけましょう。」と、挨拶したほか、「町では火災警報器の設置費用を高齢者世帯などを対象に助成しています。火災による逃げ遅れを防ぐために、早めの設置をお願いします。」と呼びかけました。



▲付近住民によるパケツリレー。初期消火は地域の連携が大切。

「炎の手前からほうきで掃くように」と指導されながら消火器の使い方を体験。



秋の叙勲受章者発表 町からは2名が受章しました

11月3日、政府は秋の叙勲受章者を発表し、町からは元八峰町消防団長の佐々木宣幸さん(八森1)と保護司の武田ミサオさん(畑谷)が瑞宝双光章を受章しました。



佐々木宣幸さん(77) 八森1
消防功勞



《経歴》

昭和40年八森町消防団第1分団に入団
平成3年～8年 第1分団分団長
平成8年～平成14年 八森町消防団副団長
平成14年～平成18年 八森町消防団長
平成18年～平成19年 八峰町消防団の初代団長

「とてもうれしいが、先輩方もたくさんいるので驚きました。」と受章の一報が届いた感想を語った佐々木さんは、約40年間、消防団として地域の防災に努めてきました。

八森町消防団第1分団に入団したのは昭和40年。当時は今の八峰消防署がなく、消防団が主体となって地域の防災を担っていた。」と振り返り、小学校の火事や茂浦地区の大火、日本海中部地震、峰浜庁舎の火災など、様々な災害を目の当たりにしてきた佐々木さんは「みんなが団結

して地域のために頑張るのが消防団。この心意気がとても好きでした。」と消防に対する思いを語ってくれました。

現役を退きながらも「夜中にサイレンが鳴ると必ず目が覚めて、何が起こったか気になって仕方がない。」と、消防精神は今も薄れてはいなく、冬になると消防施設の雪かきをしているそうです。

現在は老人クラブやことぶき大学などで活動しており、「これからもボランティアなどで地域に貢献していきたい。」と語りました。



武田ミサオさん(72) 畑谷
更生保護功勞



《経歴》

昭和48年
保護司に委嘱されて現在に至る

その他、能代地区保護司会理事や町更生保護女性会副会長を務めている。

昭和48年から保護司として11人の更生保護に尽くしてきた武田さんは「とてもびっくりしましたが、光榮に思っています。」と受章した感想を語ってくれました。

「とにかく話をしながら、お互いに心を開くことが大切。」を心掛けながら、10代から40代までの対象者の更生を担当してきました。

「思いが相手とつながらず、力不足を感じることもたくさんありました。」と苦難があったそうですが、立派になって巣立っていく姿を見ることが嬉しい瞬間だそうです。

また、時には家族に話せないことを相談されたこともあり、「信頼関係を築いて頼りにされるのが、何よりうれしい。」と語り、いまでも年賀状をやり取りしている対象者もいるそうです。

最後に「家族の協力がなければ更生は難しい。やっぱり親子の絆が一番です。」と語りました。

忙しい毎日の合間に墨絵やちぎり絵、手芸などたくさん興味を持つ武田さん。埴川小学校の手芸クラブへ講師として指導しています。